

午前10時30分開会

○はやお委員長 おはようございます。ただいまから企画総務委員会を開会いたします。座らせて進めさせていただきます。

欠席届は出てないんだよね。（発言する者あり）はい。

お手元に本日の日程をお配りしております。請願審査1件、陳情審査6件、報告事項9件、100条調査について、その他と、このとおり進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○はやお委員長 はい。まず、1の請願審査に入ります。

継続審査となっております請願31-2、辺野古新基地工事の即時中止と「日米地位協定」見直しを求める請願書についてです。

まず、紹介議員から追加説明などがありましたらお願いいたします。

○木村議員 本来でしたら、前定例会での本議案の審査の中で請願者を含めた懇談の場ということで委員長のほうにお願いをしていたところでございます。ちょっと残念ながら、ご家族との関係で、今どうしても沖縄のほうに実家のほうに戻っておられて、こちらに戻れないと。コロナ禍という影響もありまして、それで、残念ながら懇談の場にちょっと参加できないという、そういう状況になってしまいました。その点については、ちょっとおわび申し上げたいと思います。

その上で、若干補足説明をさせていただきたいと思います。

今回のコロナ禍の中で、沖縄も含めて、在日米軍基地の中で、米兵の中でコロナ感染者が生まれました。残念ながらその実態がつかめないうえです。3月30日、米国防総省の新しい方針で、基地別、部隊別の感染状況は非公開とするという方針の下で、在日米軍基地の中の感染状況が政府が掌握し切れないうえという状況にあります。これは、韓国の米軍基地はちゃんと基地別に明らかにしているんだけど、日本はそうっていない。ここには日米地位協定の一つの弊害の表れがあるんじゃないかというふうに思っております。

そういう中で、今、沖縄では二つのことが大きな焦点になっています。

一つは、防衛相が4月21日、設計概要変更申請書を沖縄に提出をしたわけでございます。大浦湾側の埋立て区域の改良工事のために、非常に工事が困難な軟弱地盤があると。そのために設計概要を変更せざるを得ない。そのための申請書が沖縄に出てきました。この扱いをどうするのが、一つ、今大きな焦点になっています。

もう一つは、工事のためには膨大なサンゴ礁を移さなければならない。これも大変な問題になっています。沖縄防衛局がサンゴ礁の特別採捕許可申請をしているその海域というのは、非常に生物多様性の高い貴重な海域で、何と4万群体という前例のない規模の採捕申請で、残念ながら、今、移植技術は未完成の中で多くのサンゴが移植先で死滅をしまふ、こういう状況にあると。で、そういう下でこの申請をどう扱うのかも、実は沖縄でも大きな焦点になっているわけです。

その中で、私たち紹介議員として、この請願者の皆さんの基地工事の即時中止と「日米地位協定」の見直しを認める請願書、どう、その思いを受け止めることができるのかということを検討した結果、実は川越市議会で、昨年暮れ、意見書が全会一致で可決いたしま

した。で、これを参考に、一致点で千代田区議会から意見書提出に向けて検討していただけないかというのが紹介議員からの提案でございます。一度その意見書の内容を委員長のお計らいでお配りさせてもらえたらと思います。

○はやお委員長 いかがでしょうか。今、紹介議員のほうから資料提示がございましたので、取りあえず委員会の資料とさせていただきたいと思いますので、じゃあ配ってください。

〔請願書資料追加配付〕

○はやお委員長 よろしいでしょうか。

じゃあ、木村委員。

○木村議員 ありがとうございます。

この川越市の市議会の全会一致で可決したこの意見書というのは、米軍基地建設工事や、あるいは日米地位協定に対しての賛否の評価ということではなくて、やはり沖縄県民がずっと置かれてきた歴史も踏まえて、県民の気持ちに寄り添って対応することを国に求める内容になっています。ぜひこの意見書も参考にしながら、ぜひ一致点で請願者の皆様のご意向を千代田区議会から、で、都心から政府に発信できるような形になったら、非常に素晴らしいことだと思いますので、ぜひご検討いただけたらと思います。

○はやお委員長 はい。ただいま、繰り返しになりますが、紹介議員のほうから資料の提示もございました。で、特にこのところにつきまして確認したいことがありますでしょうか。いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○はやお委員長 はい。この取扱いということになるんですが、懇談をしようということ、ずっと今までまいりました。ということもありますので、どうにか3定をめぐりに懇談をさせていただいて、この請願、またこの意見書もご提示いただきましたので、総合的に判断をして、委員会としてどういうふうにしていくのかということを確認し、そしてまた、本会議のほうで確認をしていただくということになると思いますが、どうですか。

○桜井委員 一つだけ、ちょっと聞いていいですか。

○はやお委員長 桜井委員。

○桜井委員 ごめんなさい。請願者にちょっと聞きます。

今、意見書を読み始めたところなんで、全部読み切れてないんで申し訳ないんだけど、今回は紹介者から提出された請願があります。で、その請願については、るるいろいろと意見があると思いますけどね。この川越のほうは全会一致でということなんだけど、その川越のほうにも同じような請願が、これと同じような請願が出されていたのかどうか。そこは、もしご存じだったら教えていただけますか。

○木村議員 同じような請願が出されていたようです。で、その結果は、我々からすると残念な結果だったんですけども、ただ、請願者の皆さんの、たしか、万を超えるような署名があったと聞いているんですけども。

○桜井委員 ああ。万。

○木村議員 この人たちの声を議会として酌み取られないかということで、まあ、千代田で言うと各派協議会のようなものなんじゃないかな。（発言する者あり）といったところで、一致点でとにかく意見を出そうじゃないかという中でこれがこういった形でまとまっ

て、それが本会議で全会一致で決まったというような流れだったというふうに聞いています。

○桜井委員 分かりました。ありがとうございます。

○はやお委員長 よろしいですか。

今、一応そういう状況の中で、またそれぞれ紹介議員からの提案した資料も踏まえまして、また調査して、各議員のほうからも確認していただいた上で決めていきたい。そしてまた3定を目途にどうにか懇談をして、一定程度の方向を、また丁寧にやっていきたいと思いますが、じゃあどうですかね、継続でもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○はやお委員長 はい。それでは、請願31-2、辺野古新基地工事の即時中止と「日米地位協定」見直しを求める請願につきましては、継続の取扱いといたします。